

[概要]

本研究では白川郷合掌造り集落を対象地域として、日本人と外国人の観光行動の差異を、旅行口コミサイトに投稿された口コミのテキストマイニングにより明らかにし、従来のインタビュー調査による結果と比較することによって、観光行動分析でのテキストマイニングの有用性を明らかにした。日本人と外国人の観光行動を把握するため、2つの方法で分析を行った。階層的クラスター分析を行った場合は、テキストマイニングとインタビュー調査で類似した結果が出た。来訪者の発地を考慮してより詳細な分析を行った共起ネットワーク分析でも、外国人の観光行動においてインタビュー調査と類似した結果が得られた。よって、インタビュー調査で得られた知見を、テキストマイニングにより補強することが可能であるということの一例を示した。しかし、口コミの数が変わっても今回の事例のように類似した結果が得られるのかは不明である。来訪者数の規模が異なる観光地で研究の蓄積を増やすことが求められる。

キーワード：観光行動, テキストマイニング, 世界遺産, 口コミ